

ごあいさつ



代表理事組合長
渡邊 健彦

組合員の皆様におかれましては、平素よりＪＡの事業・活動に対しまして格別のご理解・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、農業を取り巻く環境は、中東情勢の影響等により石油関連資材が不足しており高騰が続くこと、異常気象により高温耐性の品種や栽培方法が求められること、担い手不足により、新規就農者支援や第三者事業承継の取組が必要なこと、米価の乱高下に振り回されていること等、厳しい状況が続いています。

今こそ、ＪＡめぐみのは協同組合の原点に立ち返り、地域農業を最優先に考えながら、組合員との対話を重ね、信用・共済・購買・販売・利用事業等を通じて暮らしを支援することで、「地域になくてはならないＪＡ」としての役割を発揮する時です。そのために、何でも相談できる状況を作り、組合員本位の業務運営を図ることにより、組合員の営農と生活に寄り添います。

そのような中、令和８年度は第８次中期経営計画の中間年となります。基本方針「組合員・地域とともに食と農を支える協同の力の発揮」の実現に向け、目指す姿として掲げた３本の柱を太く頑丈にして取り組みます。

１つ目は、「次世代につなぐ持続可能な農業の実現」です。出向く営農戦略のもと、ＭＡＰ、営農指導員は担い手や作目別部会員との対話を通じて、農業者所得増大のために、収穫量増加・販売単価増加・品質向上・販路拡大に取り組みます。また、営農指導と併せて生産資材だけでなく、金融共済部署と連携し、総合事業の強みを活かした提案を行います。

なお、新たな品目や技術の導入、産地づくり及び食農教育等を後押しするために、「農業の応援団」実施要領により支援いたします。

２つ目は、「食と農と暮らしを支える仲間づくりによる地産地消と地域活性化への貢献」です。食と農による地域活性化戦略のもと、女性部・青年部や行政と連携し、食と農を支える仲間づくりを推進します。また、地域団体と協定を結び、地域全体で農業を支えます。

３つ目は、「持続可能な総合事業経営のための経営基盤強化」です。経営基盤強化戦略（効率化戦略・成長戦略）のもと、事業計画達成に向けて、ロジックツリーの考え方により重要成功要因、重点施策及び行動計画まで明確に設定し、取り組みます。また、令和８年４月から人事制度改革に取り組み、職員の成長とＪＡの成長が連動する仕組みを構築しました。

なお、組合員の事業利用メリットとして、令和８年度から事業利用分量配当の導入を検討していきます。

今後とも、ＪＡめぐみのは組合員の皆様のために、役職員一丸となって貢献してまいります。新たなＪＡめぐみを見守っていただきますとともに、皆様のご健勝・ご多幸を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

令和８年７月